

令和3年度 第1回学校運営協議会 ご意見（書面開催）

議案 1

2. 中期的目標

- ・中期的な課題解決のため取り組むべき目標が適切に網羅されていると思います。
- ・設定目標値が達成できることを期待しております。

Q コロナのために昨年度は広報活動が制限されたが、本年度は高齢者のワクチン接種が進むので、急速に通常のペースに戻ると思う。広報関係のイベント類において後手に回らないように推進して頂きたい。

A 今年度、中学校やPTAからの出前授業、学校説明会には問い合わせがあった学校等には出向いています。体験教室については、中止しましたが学校見学会において本校生徒の作業などを現場で見てもものづくりに興味関心を持ってもらえるような工夫を考えています。本年度は、10月より総合的な学習の時間などを利用してもらい、随時中学生が実習などを見学できるプランを中学校へ発信することにしています。

3. 本年度の取組内容及び自己評価

1 確かな学力に育成

Q 「教育実践にICTを効果的に取り入れ、学びの進化を図る。」について、ICTの具体的な活用例や先進的に取り組み例があれば、聞かせていただきたい。

A 振り返りなど、黒板に板書する時間を減らすことで生徒との対話を増やすことにより興味関心を深めることができる。製図など、平面図を立体的に表すことにより理解を深めることができると考えます。

Q 英語に関して積極的に学力調査等されているので是非とも成果と課題の分析で、教育効果の向上を図って頂きたい。工学系において理系でも数3までは不要な学部もあるので、生徒の適性を考慮してうまく指導されたい。電気系とメカトロニクス系で積極的にAI,Python,Raspberry Pieといった新分野に取り組んでおられるので頑張ってください。また成果が出たら広報活動にも取り入れたら良いと思う。

A 本校は、昨年度教育委員会会議で令和4年度からの改編で「AIの活用で必要となるIT技術やデータサイエンス技術について、大学の情報工学分野との連携を図るとともに、技術英語の学習も取り入れるなど、AI時代のエンジニア育成に向けた取組みに一層発展させることとする。」と決まりましたので、その分野にも現在検討中です。

2 夢と志をもつ生徒の育成

Q 離職率調査でかなり高い数値が出ているが、就職時のマッチングの不一致が主要な原因であるのか、または他の原因があるのか知りたいと思います。対策にも影響するように考えます。

A 最近、企業からも辞めた理由などについては、個人情報でもあり原因は教えてもらう事は

難しい。学校側としては、相談等に来る生徒でミスマッチがあったという話は少ない。就職したけれども、違う道が見つかったり、現役ではなしえなかった道（公務員・大学等）を進む子もいます。

3信頼される魅力ある学校づくり

- Q 工科高校全体の志願者が減っている中、よく生徒を集められているが、広報活動については、さらなる工夫が必要だと思います。
- A 昨年度は、新型コロナの影響もあり中学校への説明会や出前授業があまりできなかった。今年度については、依頼されたところへ出席予定。今年度中学校訪問は、取りやめて中学校へ向けて総合的な学習の時間などを利用して本校に来てもらい 10 月～2月まで授業見学会の実施。
- A 工業系の学科の一番のアピールはものづくり大会、マイコンを利用した大会などの対外試合で良い成績を残すことで有るので、継続して注力して頂きたい。
- Q 今年度については、昨年度に引き続きロボット相撲は中止となっていますがマイコンカーについては出場予定です。

(3) 全体を通して、お気づきになられた点など

- 工学系の取組内容・総括は詳細かつ丁寧で、意欲的に取り組まれている様子が窺える。他校の同系に比べ、多くの生徒が志願しているのは、組織的な手厚い指導により、一定の成果が出ている証左であると思いました。
- 前校長は全てをデータ化して時間的経過や目標が判りやすい設定であった。これは良かったので今後とも継承していただきたい。